

民事保全の理論と実務



著者	:	東京簡易裁判所判事 三好 一幸
定価	:	本体 2,100 円 + 税
判型	:	B5 判
ページ数	:	196 ページ
ISBN	:	978-4-906929-76-4
発行	:	平成 30 年 9 月

内容

当協会の「理論と実務」シリーズで定評を得ている著者が地裁、簡裁の民事保全に携わる裁判所職員、弁護士及び司法書士等に共通する実務を分かりやすく解説した基本書です。

本書では、民事保全手続に関する各種保全命令の申立てから保全執行までの手続について詳細に解説しながら、参考となる判例を紹介するとともに法令上の根拠を示し、適正な事務処理を行えるように構成されています。

[目次](#)

関連書籍

図書No.145 [民事訴訟の理論と実務](#)

図書No.148 [民事調停の理論と実務](#)

[「理論と実務」シリーズ\(刑事編\)](#)

図書 No.132 略式手続の理論と実務

図書 No.136 簡易裁判所における刑事公判の理論と実務

図書 No.139 令状審査の理論と実務

目次

第1章 民事保全の意義	3 解放金	2 保全命令申立認容に対する不服申立て
第1 民事保全の意義	第2 決定書	第2 却下の裁判に対する即時抗告
1 民事保全の意義	1 決定書の作成	1 即時抗告の対象
2 民事保全の種類	2 決定書の記載事項	2 申立ての方式
3 民事保全の機関	3 主文	3 抗告審の審理
4 民事保全法の適用範囲	4 決定の理由	4 再抗告の禁止
5 民事訴訟法等の準用	5 調書決定	5 決定の理由
6 最高裁判所規則	6 裁判長の権限	第3 保全異議
第2 民事保全の特質	7 告知	1 保全異議
1 付随性(従属性)	第3 仮差押えの効力	2 保全執行の停止
2 暫定性(仮定性)	1 仮差押えの効力	3 保全異議事件の移送
3 迅速性(緊急性)	2 仮差押えによる時効中断の効力	4 保全異議の審理
4 密行性	第4 仮処分の効力	5 決定
第2章 保全命令の手續	1 仮処分一般	6 保全異議の申立ての取下げ
第1 民事保全手續の概要	2 処分禁止の仮処分	第4 保全取消し
1 保全発令手續	3 占有移転禁止の仮処分	1 保全取消し
2 保全執行手續	4 建物収去土地明渡請求権を保全するための建物の処分禁止の仮処分の効力	2 本案の不提起による保全取消し
第2 受付	5 詐害行為取消権の保全と解放金	3 事情の変更による保全取消し
1 申立ての方式	6 仮処分命令の更正	4 特別の事情による保全取消し
2 申立書の記載事項	第4章 保全執行の手續	5 保全取消しの審理
3 管轄	第1 保全執行の申立て	第5 保全抗告
4 事件の記録の閲覧	1 保全執行の意義	1 保全抗告
第3 審理方式	2 申立てについての書面主義	2 保全命令を取り消す決定の効力の停止の裁判
1 オール決定主義	第2 保全執行の要件	第6章 担保取消し
2 審理方式	1 執行文を要しないこと	第1 担保取消し
3 釈明処分の特例	2 執行期間の制限	1 担保取消しの意義
第4 各種事件の審理方式	3 保全命令の送達	2 担保取消しの種類
1 仮差押え	4 追加担保を提供しないことによる保全執行の取消し	第2 担保取消しの事由
2 仮処分	5 第三者異議の訴えの管轄裁判所の特例	1 担保事由の消滅
3 債務者を特定しないで発する占有移転禁止の仮処分命令	6 民事執行法等の準用	2 担保権利者の同意
第5 申立ての取下げ	第3 仮差押えの執行	3 権利行使催告
1 保全命令の申立ての取下げ	1 仮差押えの執行方法	4 即時抗告
2 取下げの手續	2 仮差押えの執行の効力	第3 担保取戻請求手續
3 取下げの効果	3 仮差押解放金の供託による仮差押えの執行の取消し	第4 担保取戻し
第6 担保	第4 仮処分の執行	1 担保取戻しの意義
1 保全命令の担保	1 仮処分の執行方法	2 担保取戻しの要件
2 担保の定め	2 仮処分の執行の効力	3 申立て
3 担保の提供	3 仮処分解放金の供託による仮処分の執行の取消し	4 担保取戻しの許可手續
4 担保額の算定基準	第5 不当保全執行と損害賠償責任	5 承継人
5 担保提供の時期	1 申立人の故意過失	書式例
6 担保提供の場所	2 損害賠償の範囲	事項索引
7 担保提供者	第5章 不服申立て	条文索引
8 担保決定の告知	第1 不服申立手續	判例索引
9 担保命令に対する不服申立て	1 保全命令申立却下に対する不服申立て	
10 担保物に対する債務者の権利		
第3章 保全命令の発令		
第1 保全命令の発令		
1 担保提供の証明		
2 担保提供期間の徒過による却下		